

点字ってなんですか？

点字は1825年にフランス人のルイ・ブライユによって考案されました。だんだん世界中で使われるようになり、日本では石川倉次によって改良されました。

点字は、縦3点、横2点の6点の組み合わせで出来ていて、その6点を「マス」といいます。



録音の図書ってなんですか？

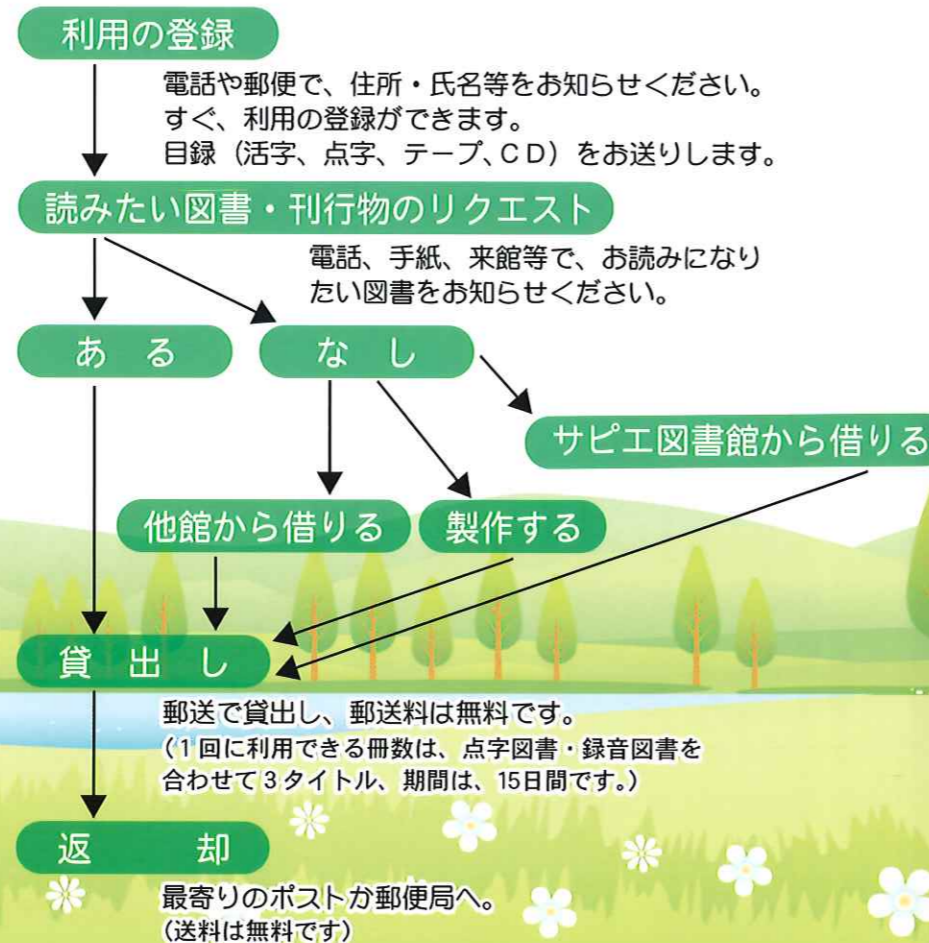
書店に並んでいる活字の本や新聞は、視覚に障害のある人たちには読みにくい、または読むことができません。

そこで、耳で聴いて読書できるように読み上げ、その音声を収録したものが録音図書です。以前はカセットテープでしたが今ではCDの方が多くなりました。点字図書館で作っている録音図書の多くもCDで、私たちはデイジー (DAISY) と呼んでいます。

※DAISYとは、Digital Accessible Information Systemの略で、日本では「アクセシブルな情報システム」と訳されています。

【図書利用の流れ】

●身体障害者手帳をお持ちの視覚障がい者の方は、どなたでも利用できます。



登録料【無料】

貸出は電話で受付

郵送貸出【無料】

点字図書館ってなにをするところ？

●点字や録音の図書を郵便で貸出します

館内でも利用できますが、点字図書館では郵便で自宅まで図書をお届けしています。郵送料は無料です。

●点字図書館では点字や録音の図書・刊行物をつくります

目が不自由な方々のための本は書店で買えるものは多くはありません。そこで点字図書館では点訳ボランティアの協力で点字図書を、また、音訳ボランティアの協力で録音図書をつくっています。

●ボランティアを養成しています

点字図書館の図書はボランティアの方々がつくっています。点字や録音の図書を作るのはとても時間がかかる根気のいる作業です。点字図書館ではボランティアを養成しています

●プライベートサービス

個人が希望する図書などを点訳・音訳します。

●複製サービス

図書などを手元に置きたい人のために蔵書、資料等を複製します。

●レファレンスサービス

知りたい言葉の意味などを調査します。

●テレフォンニュースサービス

新聞のご希望の記事を電話で代読します。



図書制作ボランティアってどんな人ですか？

●点訳ボランティア

活字図書を点字にすることを“点訳”といい、点訳作業をする人を点訳ボランティアといいます。

●音訳ボランティア

活字図書を読み上げて録音することを“音訳”といい、音訳作業をする人を音訳ボランティアといいます。

サピエ

(視覚障害者情報総合ネットワーク) ってなんですか

点字・録音図書の書誌情報は全国最大!

「サピエ」は、視覚障害者及び視覚による表現の認識に障害のある方々に対して、点字・デイジー図書のデータ、地域・生活情報などさまざまな情報を提供するネットワークです。

「サピエ」のサービスの一つ、「サピエ図書館」は、点字図書や録音図書、資料等の全国最大の書誌データベースです。

当館の利用登録した方は、当館でサピエの利用登録を経て利用できます。

録音図書再生機を貸出します



※無料貸出しは、障害者手帳をお持ちの方が対象です。

◆生活用具の展示と体験

- ・白杖
- ・音声タイマー
- ・音声時計
- ・おしゃべり温湿度計
- ・凸点シール
- ・体操ブーブー



希望により、購入の申請等についてお手伝いをしています。